



木造建築に関するアンケート

2023年11月1日

木造建築及び木質材料の使用に対する事業者の現在の意識を調査するため、アンケートを実施しています。これらの分析情報は、今後の木造建築・木質材料の普及への支援となりますので、是非ご協力ください。回答時間はおよそ5分となります。



* 必須

回答者の情報（任意）

回答者の情報は極秘であり、次の情報は内部調査のみを目的としています。すべての情報は、外部に共有されることはありません。

冊子「木という選択」をご希望の方は、下記に送付先をご記入ください。
ご希望でない場合はそのまま「次」に進んでください。

1

郵便番号をご記入ください。

2

住所をご記入ください。

3

会社名をご記入ください。

回答者の情報

4

業種を教えてください（あてはまらない場合は、類似の業種か、その他を選択してください） *

- ☐ 農業・林業
- ☐ 建設業（施工関係）
- ☐ 建設業（設計関係）
- ☐ 製造業
- ☐ 情報通信業
- ☐ 金融・保険業
- ☐ 運輸業
- ☐ 卸売業
- ☐ 不動産業
- ☐ 宿泊・飲食サービス業
- ☐ 医療・福祉サービス業
- ☐ 教育サービス業
- ☐ 電気・ガス・水道業
- ☐ 小売業
- ☐ その他

会社の規模を教えてください。（従業員数：山梨県内にある事業所） *

- ☐ 10人未満
- ☐ 11 - 50 人
- ☐ 51 - 100 人
- ☐ 101 - 500 人
- ☐ 501人 - 1,000 人
- ☐ 1,000人を超える

木造建築について



メリット：木造建築は、地震や火災に対し十分な安全性を確保できるようになっています。

6

木造建築の採用経験はありますか？ *

☐ ある

☐ ない

木造建築について



メリット：木造建築は、他の構造と比べて**地盤改良工事の縮減**が期待できます。

7

「ある」と回答した方がお答えください。
木造を採用された理由は何ですか？（複数回答可） *

- ☐ 環境に良いと考えたため
- ☐ 企業イメージを向上させるため
- ☐ 設計・施工業者の勧めがあったため
- ☐ 鉄骨造と比較して工事費が安くなるなど優位性があったため
- ☐ 鉄骨造と比較して工期が短くなるなど優位性があったため
- ☐ 木造の持つ温かみを活かしたかったため
- ☐ 持続可能型社会を目指す自社の企業コンセプトと一致したため
- ☐ 耐用年数が短く減価償却費が多いことが事業にプラスであったため
- ☐ 固定資産税が非木造と比べると安くなり事業に有利なため
- ☐ その他

「ある」と回答した方がお答えください。
木を使って良かったことはどのようなことですか？（複数回答可） *

- ☐ 温かみの演出ができた
- ☐ 無垢の木による本物の質感が出せた
- ☐ 自然素材独特の存在感があり、安心できる空間ができた
- ☐ 来訪者にも好評で、企業イメージが上がった
- ☐ 取引先に企業コンセプトが伝わり、好感を持たれた
- ☐ その他

木造建築について



メリット：木造建築は、他の構造と比べて**工期が短い**特徴があります。

9

「ない」と回答した方がお答えください。
木を使わなかった理由は何ですか？（複数回答可） *

- ☐ 木が使えるとっていなかったため
- ☐ 前例がなく、面倒だと感じたため
- ☐ 前例がなく、事業性に不安を感じたため
- ☐ 木造の方が鉄骨造と比較して工事費が高かったため
- ☐ 設計・施工業者からのお勧めが無かったため
- ☐ 耐久性に不安があるため
- ☐ 耐震性に不安があるため
- ☐ 耐火性に不安があるため
- ☐ 耐用年数が短く減価償却期間が短いことが事業にマイナスであったため
- ☐ その他

今後の予定



メリット：木造建築は、減価償却のための法定耐用年数が短く、他の構造と比べて税制上有利になる場合があります。

10

今後、店舗や事務所などの新築・改築・改装の予定はありますか？ *

☐ ある

☐ ない

11

新築などで木造建築を検討する意向はありますか？ *

☐ 検討したい

☐ 検討する気はない

今後の予定



メリット：木造建築は、住宅で使われる一般流通木材を使用することで、コストを削減することができます。

12

「検討したい」と回答した方がお答えください。
木造建築を検討する理由は何ですか？（複数回答可） *

- ☐ 環境に良いと思うため
- ☐ 企業イメージを向上させるため
- ☐ 設計・施工業者から勧められたため
- ☐ 鉄骨造と比較して工事費が安くなるなど優位性があるため
- ☐ 鉄骨造と比較して工期が短くなるなど優位性があるため
- ☐ 木造の持つ温かみを活かしたいため
- ☐ 持続可能型社会を目指す自社の企業コンセプトと一致するため
- ☐ 耐用年数が短く減価償却費が多いことが事業にプラスとなるため
- ☐ 固定資産税が非木造と比べると安くなり事業に有利なため
- ☐ その他

今後の予定



メリット：木造建築は、企業イメージのアップにもつながり人材確保に効果があります。

13

「検討する気はない」と回答した方がお答えください。
木造建築を検討しない理由は何ですか？（複数回答可） *

- ☐ 前例がなく、面倒だと思うため
- ☐ 前例がなく、事業性に不安を感じるため
- ☐ 木造の方が鉄骨造と比較して工事費が高いと思うため
- ☐ 設計・施工業者から勧められないため
- ☐ 自然災害に弱いと思うため
- ☐ 耐久性に不安があるため
- ☐ 耐震性に不安があるため
- ☐ 耐火性に不安があるため
- ☐ 耐用年数が短く減価償却期間が短いことが事業にマイナスになるため
- ☐ その他

木質材料の内装・造作について



メリット：木材には人の心身に働きかける様々な効果があると言われ、子どもからお年寄りまで**健やかに過ごせる空間づくり**に役立ちます。

14

木質材料の内装・造作への利用経験はありますか？ *

☐ ある

☐ ない

木質材料の内装・造作について



メリット：木材を用いることで室内空間の湿度を一定に保つことができます。

15

「ある」と回答した方がお答えください。
内装・造作に木を使った理由は何ですか？（複数回答可） *

- ☐ 環境に良いと考えたため
- ☐ 企業イメージを向上させるため
- ☐ 材料として木の方が安かったため
- ☐ 設計・施工業者のお勧めがあったため
- ☐ 他と比較して工期が短くなるなど優位性があったため
- ☐ 木造の持つ温かみを活かしたかったため
- ☐ 持続可能型社会を目指す自社の企業コンセプトと一致したため
- ☐ 人が触れる空間には積極的に木を使いたいため
- ☐ 利用者への好感度を期待したため
- ☐ その他

木質材料の内装・造作について



メリット：木に囲まれた空間では、仕事の効率が上がり、働きやすくなると言われています。

16

「ない」と回答した方がお答えください。
木を使わなかった理由は何ですか？（複数回答可） *

- ☐ 木が使えるとっていなかったため
- ☐ 前例がなく、面倒だと感じたため
- ☐ 前例がなく、不安を感じたため
- ☐ 他の材料と比較して木の方が、コストが高かったため
- ☐ 設計・施工業者からのお勧めが無かったため
- ☐ 耐久性に不安があるため
- ☐ 強度に不安があるため
- ☐ 耐火性に不安があるため
- ☐ その他

木造建築の推進に必要なことについて



メリット：山梨県産材を使うことで、木材の製造・加工・販売を通して、**県内経済の活性化**に寄与します。

17

木造建築の推進にはどんな支援を求めますか？（複数回答可）*

- ☐ 建築費の一部を補填する補助金の創設
- ☐ 法的な優遇措置
- ☐ 環境配慮をPRできる認証制度の創出
- ☐ 木造の耐火・耐震・耐久性への専門家による説明
- ☐ 木造のコスト高をカバーできるメリットの専門的な説明
- ☐ その他

18

高層の木造建築や耐火性能が必要な木造建築はコスト高となる場合があります。
木造建築が鉄骨造等よりコスト高になった場合、コスト増の許容範囲はどの程度ですか？ *

- ☐ 少しでも高ければ許容できない
- ☐ 0%以上～5%未満
- ☐ 5%以上～10%未満
- ☐ 10%以上～15%未満
- ☐ 15%以上～20%未満
- ☐ 20%以上～30%未満

19

山梨県産材を利用する場合、材の種類によってはコスト高になる場合があります。
県産材を利用することによりコスト高になった場合、コスト増の許容範囲はどの程度ですか？ *

- ☐ 少しでも高ければ許容できない
- ☐ 0%以上～5%未満
- ☐ 5%以上～10%未満
- ☐ 10%以上～15%未満
- ☐ 15%以上～20%未満
- ☐ 20%以上～30%未満

木造建築とSDGsについて



メリット：木材を建物に使うことで、樹木が取り込んだ**炭素の固定**に繋がります。

20

木造建築若しくは木質材料を使用した内装・造作は、企業におけるSDGs貢献に有効な手段の一つと考えられていますが、どの分野でSDGs達成に貢献すると思いますか？（複数回答可）*

- ☐ 炭素固定
- ☐ 森林環境保全
- ☐ 資源循環
- ☐ 地域産業の継続的発展
- ☐ 住み易いまちづくり
- ☐ SDGs達成に貢献しない

21

木造建築や木質材料を用いたSDGsに貢献するための取組を実施中若しくは実施予定ですか？*

- ☐ している（する予定）
- ☐ していない（する予定はない）

木造建築とSDGsについて



メリット：木造建築は、他の構造と比べて、材料製造時・輸送時・建設時でのCO2排出を少なく抑えられます。

22

「している」（する予定）と回答された方がお答えください。
取組内容を簡潔にご記載ください *

木造建築とSDGsについて



メリット：木材を使うことは、炭素の固定や二酸化炭素の排出抑制を通じて**地球温暖化の防止**に貢献します。

23

「していない」（する予定はない）と回答された方がお答えください
取り組まない理由は何ですか？ *

- ☐ 興味が無い
- ☐ メリットがない
- ☐ SDGsをよく知らない

ご回答ありがとうございました。

後日、ご記入いただいた郵送先に冊子「木という選択」をお送りいたします。

24

最後に、木造建築のメリット・デメリットについて、専門家の話を聞く機会を望まれるかどうかお聞かせください。*

- ☐ 聞きたい
- ☐ 聞きたくない

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

 Microsoft Forms